



真実を明らかにすることで 被害者やそのご家族の 苦しみを和らげる

福岡地方検察庁(福岡地検)
検察官(検事)

<https://www.kensatsugo.jp/kakuchou/fukuoka/fukuoka.shtm>

日本大学
法学部 法律学科 卒業
三好 絢女さん

検察庁



必ず誰かが見てくれている
周りの人を大切に!

掲載内容の一部および全てについて、事前の許諾なく無断の二次利用を固く禁じます。

司法試験を目指すために 最良の環境

私は、高校卒業後、音楽学校に2年間通いましたが、フリーランスで働く方々が契約時に弱い立場に立たされることを知り、法律を扱う職業に就きたいと考え、法学部法律学科への進学を決めました。大学は、法律を学ぶ環境が整っていると感じた日本大学を選びました。日本大学の魅力は司法試験を目指す学生を積極的に支援してくれるところです。私はそのような学生が集まる司法科研究室に所属していました。司法科研究室では、論文問題の添削を受けることもできましたし、法律科目の講義やグループ指導ゼミを受講することもできました。

幅広く法律を学ぶことで 法的な思考力が身につく

法学部法律学科に進学した時点では、司法試験は、当時の私にとっては遠い目標に感じられました。しかし、今振り返ってみると、大学での講義や司法科研究室の活動を通じて、法律を学ぶことに慣れることが

できたので、司法試験を目指す勇氣が湧いたのだと思います。司法試験を目指していると、試験に出てくる法律ばかりを重点的に勉強してしまいがちですが、私は、大学の講義を通じて、幅広く法律の勉強ができたことで、法的な思考力を身につけることができたと思います。

法曹になるための道のり

司法試験に合格したからといって、すぐに法曹としての仕事ができるわけではありません。約1年間の司法修習で法律実務に関する知識と技術を学び、最後に修了試験に合格してはじめて法曹になることができます。司法試験に合格したあとも、たくさん学ぶことができます。司法修習では、裁判官、検察官、弁護士の仕事を間近で見て、指導を受けることで、法曹三者の視点を養い、法曹になるための底力をつけていきます。

刑事裁判に 当事者として携わる立場

私は現在、検察官として福岡地検の公判部に所属しています。具体的な仕事内容は、裁判で証拠を提出する

などして、事実を明らかにすることです。もともと刑事事件に関心があったので、大学で学んだ法律の知識を活かして、刑事事件に携わりたいという思いがありました。また、犯罪被害に遭った被害者やそのご家族の苦しみを和らげるために、少しでも自分にできることがあればやりたいという思いがあり、検察官を志望しました。

検察官としてのやりがいと喜び

検察官の仕事は、時には大変なこともあります。やりがいがあり、充実した日々を過ごせます。検察官の仕事に興味がある方は、ぜひ、検察庁の説明会や体験プログラムに参加してみてください。



検察官の仕事は被疑者の取り調べや証拠から真実を明らかにすること

多様な分野でリーガルマインドを
発揮できる人材を育成

[学務部入学課] 03-5275-8001

LINE @nihon-u.nyushi



自主創造
日本大学

